

「ボランティアの会」とは何かを考えて見ました

上記議論の中で「個人」と「会」の関係に関する意見も多く出ました。そこで「私見」として3月17日以下の「ボランティアの会」(以下Vの会)とは何かを考えて見ました。そして提案・提示しました。「都民の会」も「ボランティアの会」と思っていますし、基本的に同じ考え方です。

【基本的考え方】

- 1) Vの会は「個人の自主性」に委ねられた会です。
- 2) 個人がやりたいことを「何人か集まった」方がやりやすいという理由での会です。
- 3) 従って、活動は個人の自由意志が大前提ですが「集団のメリット」を利用します。
- 4) 活動は原則自由ですが、結果的に会に迷惑を掛ければ「自己責任」で償います。

【理念／戦略／戦術】

- 1) Vの会は、何か「社会的に影響」を与えることを目的とした会です。従って、
- 2) その向かうべき大きな方向を示す、一つの「理念」が必要です。そして、
- 3) 会としてある程度まとまった成果を出すには、何らかの「戦略」が必要です。加えて、
- 4) どの様な手段で行うのか種々な「戦術」を用意しておく必要があります。

【具体的行動】

- 1) まず、具体的に何をやるのかの「具体的行動」が、最も重要な要件です。ただ、
- 2) 種々な人がいますから「種々な具体的行動」があって良いと思います。
- 3) リーダー1人に1つの「具体的行動グループ」があって良いと思います。そして、
- 4) 種々な具体的行動の相乗効果により「目指す理念を実現」して行きます。

【会員拡大】

- 1) 一方、社会的行動の影響力を大きくするには「会員数が重要」です。従って、
- 2) 多くのVの会は「会員拡大を目標の1つ」に掲げています。そこで、
- 3) 会の「会員拡大に対する活動」も重要視されます。
- 5) Vの会は「具体的行動」と「会員拡大」が重要な両輪と言えます。

【グループ・会員の相互支援・共同活動】

- 1) 各人が自由意志で行動するとしても、お互いの「相互支援」が効果を増します。そのため、
- 2) 他のグループが今何をしているかの「情報交流」が重要となります。
- 3) 他のグループが必要としている「情報」「助言」「激励」等の交換が大切です。
- 4) 情報だけでなく、時に応じて他のグループとの「共同活動」も必要となります。

「第1回理念戦略委員会」が開催されました

以上のような提案・意見を踏まえ、4月2日の運営会議で議論された結果、有志を募って「理念戦略委員会」を開くこととなり、早速4月17日 18:30~21:00 阿部悠逸・大谷和夫・梶原光恵・河登一郎(埼玉県)・近藤珠甲・佐藤鶴次郎・澤井正治・杉原健児・萩野谷敏明(神奈川県)・長谷川文昭・山崎康彦(長瀬正彦・山本竜司は欠席)氏の11名が集まって議論しました。最初に各自が作成・配付した「私案メモ」に基づいて説明があり、主な提案を以下に示します。

【主な提案】

平成維新とは何か(理念)のインパクトの強い解説が必要/どうすれば平成維新が実現できるか(戦略)国の政権獲得が必要条件であり、そのシナリオを作ることが重要/平成維新憲章を一言で表現することが必要/国民には、1)現状維持派、2)無責任派、3)不安派、4)危機意識派と居るが、1) 2) 3)の人を 4)に近づけることが大切/官僚・政治・教育・規制・税金・農業・マスコミ・国防・新産業・地方主権の10項目が重要/理念としては、自由な社会・自己責任・小さな政府・活力ある生活者の社会・個人の尊重とコミュニティへの貢献の5項目が重要/戦略としては民主的手段・世論を動かす・政治への参画・行政改革運動・規制緩和運動・憲法改正・活動資金の確保の7項目が重要/共同著作・映画製作・他団体との関係等が肝要。

【自由討議】

以後自由討議を行った。主な意見・提案を以下に示します。政治と市民を繋ぐことが我々の運動/平成維新は実現しないと意味がない、従って勝つ方法、即ち「戦略」が重要となる/小異を捨てて大同につくことが重要/今後10年で実を結ぶためには相当の努力・智慧・実行力が必要/国の財政破綻は若い人が気の毒だが、彼らは気付いていない/官僚改革には情報公開が重要な要素となる/理念は決めたら長期に、戦略は毎年見直し10年後に政権を取る/1996年~2005年の10年間で日本の将来が決まる/一人一人の市民運動が重要である/一人一人が地域の顔になり、その内全国レベルの顔が出てくる/政策は1つでは少なく、10では多すぎる。3~5にすべきである/インターネットや衛星放送など新しいメディアを活用しよう。

皆様方の「ご意見」「ご提案」をお願いします

今後は「理念戦略委員会」を、毎月1回都合3回開き、6月には結論を纏めます。その間「運営会議」に中間報告をし意見を聴取し、また「維新フォーラム」や「会報」等でもPRし、広く意見・提案を求めます。この「理念戦略」は、今後の「都民の会」の運動の重要な「要」となるものと思われまので、できるだけ多くの方々のご意見「ご提案」を、下記へお寄せ下さい。

杉原健児：〒182 調布市柴崎 2-13-3 つつじヶ丘M4 C509
TEL&FAX 0424-86-6497 NIFTY-ID GEF03673